

2017年4月25日

**1. 基本情報**

- (1) 国名：キルギス共和国（以下「キルギス」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ビシュケクーオシュ道路
- (3) 案件名：ビシュケクーオシュ道路地吹雪対策計画（The Project for Snowdrift Protection on Bishkek—Osh Road）
- (4) 事業の要約：本事業は、ビシュケクーオシュ道路上で地吹雪による通行止めが頻発する一部区間において、地吹雪対策を実施することにより、道路の安全性の向上及び輸送力の強化を図り、もって、同国の運輸インフラの維持管理と地域間格差の是正に寄与するもの。

**2. 事業の背景と必要性**

- (1) 本事業を実施する外交的意義、

アジアと欧州、ロシアと中東を結ぶ地政学的に重要な地域に位置するキルギスは極めて親日的であり、国際場裡において日本と協力関係にある。キルギスは1991年の独立以来、中央アジア諸国の中で積極的に民主化・市場経済化に取り組んでおり、同国における民主主義の定着を図るためには、経済的繁栄及び政治的安定が不可欠である。また、国際社会がアフガニスタンの自立と安定に向けて取り組んでいる中で、キルギスを含む近隣諸国の安定と協力が不可欠となっている。

我が国は、中央アジアが開かれた地域として安定・発展していくこと、域内諸国が共通の課題に共同で対処することが重要であるとの考えから、中央アジア諸国との対話と協力の枠組みとして「中央アジア+日本」対話を立ち上げ、地域協力の触媒としての役割を果たすよう努めている。本案件は、2013年3月に行われた「中央アジア+日本」対話・第5回東京対話にて提言された、国境を越えた輸送インフラ整備に寄与するものであり、2017年に開催が予定されている「中央アジア+日本」対話第6回外相会合の主要テーマとなる「運輸・物流」分野における協力を資することが期待される。

さらに、2015年10月の安倍総理のキルギス訪問時に表明された「日本国とキルギス共和国との間の民主主義の国家の連帯及びパートナーシップに関する共同声明」において、キルギスの発展及び地域の内外との連結強化のために運輸インフラの整備が重要であることを確認しており、本案件の実施は、こうした首脳レベルのコミットメントの着実な実施に資するものであり、二国間関係の強化にも寄与する。

- (2) 当該国における運輸交通セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

キルギスは中央アジア各国及び中国に囲まれた内陸国であり、旅客輸送や貨物輸送の約95%を道路交通に依存している。特にビシュケクーオシュ道路はアジア開発銀行（ADB）の主導する中央アジア地域経済協力（Central Asia Regional Economic Cooperation : CAREC）

の国際回廊の一部として、同国と周辺国を結ぶとともに、首都ビシュケクと第二の都市オシユを結ぶ唯一の主要幹線道路であることから、国内で最も重要な道路の一つに位置付けられる。しかし、冬期には特に山岳地帯において積雪により、雪崩や風雪等の自然災害が多発している。また、急峻な山岳地帯の地形から、山頂付近から吹き降ろす風が非常に強く、路上への吹き溜まりと視程障害が生じている。特に、同道路 125～129km 及び 216～222km 地点では地吹雪に起因する通行止めが頻発しており、2015 年～2016 年冬季においては、それぞれ 21 回、65 回の通行止めが発生し、これらは経済活性化の阻害要因となっている。

同国政府の開発戦略である「国家持続的開発戦略 2013—2017」では道路セクターの優先課題として周辺地域と国内市場へのアクセスの改善が掲げられているところ、本事業は、同戦略に合致し、これを具体化するものとして位置付けられている。

#### (3) 運輸交通セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

我が国は対キルギス共和国国別援助方針（2012 年 12 月）において「民主主義の定着を後押しする持続的かつ均衡のとれた経済成長への支援」の基本方針の下、「運輸インフラ維持管理と地域間格差の是正」を重点分野に位置付け、物流の活性化や他の産業部門への波及効果が期待される運輸インフラにおいて、道路維持管理能力の強化や幹線道路の交通改善を中心とした支援を行うこととしている。冬季の輸送力と安全性の向上を目的に、ビシュケクーオシユ道路における地吹雪対策を行う本事業は、我が国の協力方針に合致する。

#### (4) 他の援助機関の対応

世界銀行、ADB、欧州復興開発銀行、イスラム開発銀行、中国輸出入銀行等が道路整備事業・改修事業に対する資金協力を実施している。また、ADB は同国運輸道路省の道路セクターにおける開発戦略文書である「Road Sector Development Strategy up to 2025」の策定支援を行っている。

#### (5) 本事業を実施する開発政策上の意義

本事業は、キルギスの主要幹線道路上における地吹雪対策を通じて、冬季の道路輸送力及び安全性の向上を図り、もって同国の経済活性化に資するものであり、我が国の協力方針及び同国政府の政策に合致し、SDGs ゴール 9（強靱なインフラ構築等）に貢献すると考えられることから、無償資金協力にて本事業の実施を支援する必要性は高い。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業概要

##### ① 事業の目的

本事業は、ビシュケクーオシユ道路上で地吹雪による通行止めが頻発する一部区間において、地吹雪対策を実施することにより、道路の安全性の向上及び輸送力の強化を図り、もって同国の運輸インフラの維持管理と地域間格差の是正に寄与するもの。

##### ② 事業内容

ア) 施設・機材等の内容：

- ・ 防雪柵（吹きだめ柵、吹き払い柵、吹き止め柵）の建設
- ・ 視程障害対策施設（視線誘導標、スノーポール、固定式視線誘導柱等）の建設

- ・雪崩誘導堤（土工）又はコンクリート擁壁による雪崩誘導施設の建設（当該対策予定区間には、一部雪崩発生箇所が含まれているため）

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計，入札補助，施工監理等

ウ) 調達・施工方法：本邦／第三国調達（詳細は協力準備調査により確認する。）

### ③ 他の JICA 事業との関係

技術協力「道路防災対応能力向上プロジェクト」（2016～2019 年）において、キルギス共和国運輸道路省の関連部署の道路防災管理（雪崩対策含む）に係る能力向上を図っており、本件無償資金協力事業の運営維持管理に寄与することが期待される。さらに、同技術協力においては、本件無償資金協力事業の対象地域であるビシュケクーオシユ道路上の風向・風速などの気象情報も観測していることから、同技術協力を通じて収集する基本的な情報が本事業でも活用されることが見込まれる。

## (2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：キルギス共和国運輸道路省（Ministry of Transport and Roads of the Kyrgyz Republic : MOTR）

② 他機関との連携・役割分担：ビシュケクーオシユ道路の改修については、我が国の他、ADB、イスラム開発銀行が支援しており、総延長 672km のうち、557km が改修済み。本事業は当該協力の成果との相乗効果が期待できるものである。

③ 運営／維持管理体制：完工後はキルギス運輸道路省傘下の道路維持管理事務所が維持管理を行うことになる（詳細は協力準備調査にて確認）。

## (3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 A B C FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境配慮社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

## (4) 横断的事項

同国では気候変動の影響による雪崩や土砂災害等の被害増加が懸念されている。協力準備調査にて、気候変動への適応案件に位置づけられるか検討し、相手側実施機関と認識を共有する予定。

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項：特になし

## 4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

無償資金協力事業による地吹雪対策支援は本事業が初の事例であり、類似案件はない。ただし、機材整備を目的とした案件として、キルギス共和国に対する無償資金協力「イシククリ州・チュイ州道路維持管理機材整備計画」の事後評価（2014 年度実施）結果等において、

マニュアルが英語と日本語のみで作成されており、十分活用されていない状況が生じた。上記を踏まえ、本事業では関連部署の職員への技術移転が確保されるよう、建設した施設の維持管理方法のマニュアルについても同国の公用語である露語（あるいはキルギス語）で作成する。

以 上

[別添資料] 地図

ビシュケクーオシュ道路地吹雪対策計画 地図

